Creative Enzymes®

フォトバクテリウム・ダムセラ由来のα(2,6)-シアリルトランスフェラーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0759

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	シアル転移酵素は、新たに合成されたオリゴ糖にシアル酸を転移する酵素です。各シアル転移酵素は特定の糖基基質に特異的です。シアル転移酵素は、シアル化されたグリコ脂質（ガングリオシド）の末端部分や、糖タンパク質のN-またはO-結合糖鎖にシアル酸を追加します。シアル転移酵素は、ヌクレオチドーリン酸糖（CMP-NeuA）をドナーとして使用する糖転移酵素ファミリー29（CAZY GT_29）に属します。シアル転移酵素は、CMP-Neu5Acから受容体分子のガラクトシル末端（糖タンパク質、グリコ脂質、オリゴ糖を含む）にNeu5Acを転移します。
用途	高度に活性なα2-6シアル酸転移酵素が、高レベルの二シアル酸化フラグメント結晶を調製するために使用されました。
別名	α(2,6)-シアル転移酵素; ベータ-ガラクトシド α-2,6-シアル転移酵素; ベータ-ガラクトアミド α-2,6-シアル転移酵素; CMP-N-アセチルニュラミン酸-ベータ-ガラクトアミド-α-2,6-シアル転移酵素; ST6Gal1; EC 2.4.99.1

製品情報

種	フォトバクテリウム・ダムセラ
由来	E. coli BL21
形態	Tris-HClとNaClを含む凍結乾燥粉末として供給されます。
EC番号	EC 2.4.99.1
CAS登録番号	9075-81-4
分子量	56.8 kDa
活性	> 5 ユニット/ mg タンパク質
等電点	4.88
最適pH	7.5–10.0
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 8.0で、CMP-Neu-5-AcとLac-β−OMUから1μmolのNeu-5-Ac-α-2,6-LacMUを1分あたり触媒します。

使用法とパッケージング

調製方法	凍結乾燥粉末を水で再構成して、約5 mg/mLにします。再構成後、溶液は2〜8°Cで1〜2ヶ月間保存できます。また、分注して–70°Cまたは–20°Cで1年間凍結保存することも可能です。複数回の凍結・解凍サイクルは避けるべきです。

保管・発送情報

安定性	製品は–20 °Cで保管してください。適切に保管された場合、少なくとも1年間は活性を保ちます。